

NewFace

当社は1936年5月、絶縁材料を取り扱う個人商店として創業した。熱硬化性樹脂によるソケットやスイッチなど電気関連部品の製造が拡大したことにより、1940年9月に本社工場を建設し、天昇電気工業株式会社を設立した。合成樹脂成形品の開拓者として歩みを進め、以来、八十有余年に及ぶ歴史の中で、合成樹脂の成形加工において培われた技術力をベースに国内5工場、海外3拠点を展開し、企画段階からデザイン考案、設計、構造解析、金型製作、試作評価、製造、2次加工まで絶えず事業領域を拡大し続けてきた。

現在の取り扱い製品は、自



感染性医療廃棄物容器

強度を追求した合成樹脂ポリプロピレン、ポリエチレンを使用しており、焼却時にダイオキシンなどの有害ガスが発生しません。焼却処理を安全でスムーズに行うことが可能です。



矢吹第二工場

2020年9月に竣工した矢吹第二工場。写真左上に見えるのが矢吹第一工場。比較すると第二工場の大きさが分かります。

TENSHO

天昇電気工業株式会社

- 資本金：12億800万円
- 設立：1940年9月
- 従業員数：単体404名、グループ513名
(2020年3月末日現在)
- 本社所在地：〒194-0005
東京都町田市南町田5-3-65
天幸ビル17
- 事業内容：プラスチック製品の設計・製造・販売
- URL：<https://www.tensho-plastic.co.jp>

動車部品、家電・OA機器や機構部品、そして大型コンテナ、物流産業資材、導電性プリント基板収納ラック、感染性医療廃棄物容器や雨水貯留浸透施設などであり、多分野へと進出して、あらゆるお客様の多様なニーズに幅広くお応えしている。

2020年は年初からコロナ禍の影響で第1四半期は業績低下を余儀なくされたものの、危機をばねに社員全員を力を集結し今期業績予想を黒字とするところまで戻すことが出来た。同年9月には新工場としては30年ぶりとなる矢吹第二工場が竣工した。2021年は積極果敢な経営にチャレンジし続け、さらなる業務拡大、躍進する会社として「妥協しない経営、結果を出す経営」を標榜し、あらゆるステークホルダーから一流と認められる企業となることを目指している。

MESSAGE

ものづくりを通じて
豊かな社会を創造しよう

社長

石川忠彦
いしかわただひこ



プラスチック産業の草創期から80年以上のキャリアを持つ当社は、企画開発から金型製作・試作・成形、量産までを一貫貫貫で対応出来る体制を持っており、各種メーカーからお声掛けいただける存在となりました。プラスチックの持つポテンシャルを活用し、特殊印刷や華飾技術などの新しい分野にもフィールドを広げ、常に時代のニーズに応え続け、ものづくりを通じて豊かな社会を創造することをお手伝いをして参りたいと考えております。

また、ステークホルダー責任を果たす「良い会社」となり、喜ばれ、満足を提供し優良企業として飛躍、成長することをお約束します。

今後とも皆様の、より一層のご指導とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。